



ちょっとつけなかん！ 住宅用火災警報器

令和元年度から令和6年度までの6年間で、消防職員等が市内の住宅を訪問し、住宅用火災警報器に関する調査を行いました。



瀬戸市消防本部

《調査結果》

	設置(世帯)	未設置(世帯)	設置率(%)	適合率(%)
一戸建て	14,088	4,725	74.9	51.3
75歳以上独居	2,636	1,145	69.7	41.9
75歳以上のみ世帯	1,789	580	75.5	43.9
一般住宅(75歳以下)	9,439	2,936	76.3	55.3
長屋(75歳以下)	224	64	77.8	65.3
共同住宅	17,958	1,016	94.6	79.5
75歳以上独居(賃貸)	803	77	91.3	83
75歳以上独居(分譲)	274	19	93.5	85.7
75歳以上のみ世帯(賃貸)	187	5	97.4	83.9
75歳以上のみ世帯(分譲)	89	6	93.7	78.9
75歳以下(賃貸)	12,773	671	95	79.2
75歳以下(分譲)	3,832	238	94.2	79.2
店舗併用住宅	20棟	8棟	71.4	57.1

	設置	未設置
75歳以上独居	5,778世帯	1,832世帯
75歳以上のみの世帯		

75歳以上独居及び75歳以上のみの世帯

設置率 $\times$ 適合率
75.9% **50.5%**

火災による死者数は
65歳以上の高齢者が
74.2%

75歳以上の世帯の
設置率が低い結果に！

住宅用火災警報器を設置しているのに
条例に適合していないかも！？

全ての寝室と階段

(寝室が2階以上の場合)

が **義務設置** です！

瀬戸市の火災予防条例



YouTube

瀬戸市消防本部
公式SNS



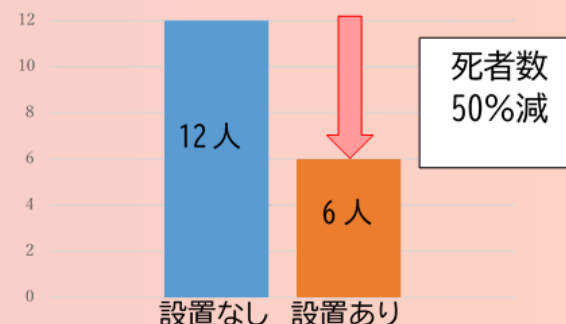
Instagram



← 住宅用火災警報器が拡大せず設置し済んだため

住宅用火災警報器を設置することで
住宅火災による死者が半分に！！

《住宅用火災警報器の効果》



令和2年から令和4年までの全国の失火を原因とする
住宅火災100件当たりの死者数